

## 私のすすめるこの1冊

二枝 美津子 (英文学科 教授)

### 『金融商品取引法』 小川宏幸著

教科書というのは、理論的な美しさを持っていないければならない。私が思うに、最近の学生の中には何が良い教科書か、ということについて見極める視点をもっていない、あるいは、とまどっている学生が多いような気がするので、「教科書選び」、という観点から、本書を薦める。従って、法学、経済学に興味のない学生にも、是非本稿を読んでいただきたい。

さて、この本、ちょうど 2012 年の 12 月に出版されたばかりである。これまで、金融商品取引法(旧証券取引法)というものは、憲法でいう芦部教授のような確固たる教科書がなく、その学習はもっぱら逐条解説書を読むことでなされてきた。強いてあげるならば、川村正幸教授の「金融商品取引法」(中央経済社)が基本書たる役割を担ってきたと言えるかもしれないが、私の不勉強を承知で申し上げますと、やや知識を羅列した感があり、初学者が理論的な体系を頭に入れるのには、少し不向きである。そこで本書を見てみる。なるほど、この本は若干 200 ページほどしかないが、エンフォースメント→開示規制→行為規制→適用対象、といった従来の教科書にはなかった順で構成しており、その斬新さを感じさせる。しかし、実務法曹としてはこのような考え方こそが自然であり、又、本書は条文の趣旨、要件、効果についてきちんと述べられており、金融商品取引法のみならず、法律家としての基本的な思考法を身につけるには格好の書物と言えるだろう。私の専門とする言語学で言うならば、Dixon 教授の *Basic Linguistic Theory* 等は、幅広い他言語の知識の基盤の上に立ちながら、その上で現代の英語の文法を説明しており、主語とは何か、などの思考法を身につけるにはよい著作である。

他にも、理論的な美しさを持った教科書というのは存在する。あえて私の不勉強を承知して言うならば、

聞くとところによると、例えば物理学の分野でいうと、砂川教授の「理論電磁気学」や、J.J. サクライ教授の「現代の量子力学(上)(下)」というのは、本書と同様、斬新な理論体系を構築しながらも、それぞれ、電磁気学、量子力学の核心を突くような内容となっているそうである。御二方とも、その分野の第一人者でありながら、過度に複雑な内容や自説に深入りすることなく、自らの血肉と化したその学問のエッセンスを述べている。教科書あるいは参考書には是非、このようなものを選んでほしいし、またそれを見抜く目を養ってほしい。

ところで、将来、教員となる皆さんもこうであってほしいと願っている。ただ教科書の知識を羅列した授業では、全く意味はない。そのような内容の授業ならば、学生はより優れた教科書を読んで自習すればよいだけである。そうではなく、自らがその学問を血肉と化し、そこからそのエッセンスを抽出し、自らが最も合理的と考える理論体系を構築し、これを教授する、これこそが教師の職責であり、生徒によって受講する価値がある授業といえる。

ただ一方、自らの説に酔いしれてはならないことも付言しておく。生徒が身につけるべきことは、あくまでその学問の「基本」であり、教員自らの自説ではない。小川教授も、さぞかし自分の唱えたい主張はあるだろう。しかし、そこを抑えて、あえてその分野のミニマム・スタンダードを簡潔に、しかも美しく述べているところにも、本書のすばらしさはある。

自らが学問と格闘し、それを血肉と化し、凝縮されたエッセンス、すなわち「基本」を生徒に教授する。本学の学生には、是非そのような教師になって欲しいと願っている。

『金融商品取引法』(法学叢書 19)  
小川宏幸著 新世社, 2012 年  
ISBN : 9784883841882

配置場所 : 南館 1 階  
請求記号 : 338.16||O24

## 図書館からのお知らせ

### 仮開館について

現在、学生課のある建物の2階にて仮開館をしています。どうぞご利用ください。  
※学外の方もご利用いただけます。

#### 【配置資料】

- ・開架図書（元々南館に配架されていた資料。参考図書・大型図書を含む。）
- ・文庫・新書・新着雑誌・コレクションの森・京都コーナー・就職支援コーナー
- ・教員発刊コーナー・大学発刊コーナー・教科書コーナー・児童書

※貸出方法等は今までと同様です。

### 分室の閉室について

事務局棟3階大会議室に設置されていた附属図書館分室は、2月15日(金)をもって閉室します。これに伴い、2月16日(土)～3月27日(水)の間、視聴覚資料およびIPC端末の利用ができなくなります。3月28日(木)以降は、リニューアルオープンした附属図書館で利用できるようになる予定です。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

分室設置期間	平成24年10月15日(月) ～平成25年2月15日(金)
主な開館時間	月～金 10:00-17:00
休館日	土日祝 その他別途定める平日 ※ホームページでご確認ください
利用対象者	学内者のみ
設備	視聴覚資料 ※即日貸出はできません AVブース IPC端末

事務局棟内 分室 開館日程表  
10:00～17:00 ■休館 (CLOSED)

平成25年2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

※2月15日(金)まで

### 増改修工事に伴う臨時休館について

附属図書館の増改修工事に伴い、3月7日(木)～3月27日(水)は臨時休館となります。休館中の資料の返却は、返却ポストに入れてください（学生課のある建物の1階ロビーにあります）。

利用者の皆様にはご迷惑とご不便をおかけして大変申し訳ございません。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



## 🌸 春季休業に伴う長期貸出について



下記のとおり長期貸出をしていますので、ご利用ください。

対 象	院生・教職員	学部生
貸出期間	2013年1月12日(土) ～2013年3月6日(水)	2013年1月28日(月) ～2013年3月6日(水)
貸出冊数	12冊	7冊
返却期限日	2013年4月11日(木)	

※視聴覚資料は除きます。

※長期貸出図書の貸出更新(延長)はできません。一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

※一般利用者・卒業生の方の長期貸出はできません。

## 🌸 卒業・修了予定の方へ



### 1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は2013年3月6日(水)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことによって、2013年3月25日(月)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

### 2. 卒業後も図書館を利用される場合

卒業生利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内および利用証の申請書は卒業式で配布します。3月25日(月)の卒業式・修了式の日から利用証を発行しますので、ご希望の方はお申込みください。ただし、3月7日(木)～3月27日(水)は増改修工事のため休館していますので、3月25～27日の利用証発行は別の場所で行います。詳細については別途ご案内いたします。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※2013年3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が3月6日(水)になっている方は、2013年4月11日(木)に変更されます。図書館への申出は不要です。

## 🌸 第17回教科書展について



第17回教科書展・中等教育用教科書(技術編)を、平成25年3月28日(木)から開催する予定です。近年は11月頃に開催されていた教科書展ですが、図書館のリニューアルオープンに合わせて行います。詳細は次号の図書館ニュースやホームページなどでお知らせしていきますので、どうぞお楽しみに!



今回の執筆者

伊藤悦子 (教育学科 教授)

ニューカマー生徒を受け持つ学級担任の生徒理解や支援の現状と課題  
—京都市立中学校教員への実態調査の分析を通して—

伊藤悦子・西村府子 (京都市立京都御池中学校)  
京都教育大学紀要. 2012, No.121, pp.53-66.

2010(平成22)年現在、京都市立小・中学校には1101人の外国籍児童生徒が学んでいる。それらの多くは在日コリアンであるが、最近来日したニューカマーと呼ばれる人々も徐々に増えてきている。また、国際結婚で生まれた「外国にルーツをもつ子」も増えている。そうしたニューカマー生徒は日本語教育が必要だったり、「異なる存在」として排除されたり、逆に「異なる部分」を認めてもらえないなど、さまざまな困難を抱えているのが現状である。

京都市は在日コリアンに対して「民族差別をなくす」「進路を保障する」という方針をかかげ、本名指導などの実践を積み重ねてきた。そうした在日コリアンに対する人権教育実践の延長にニューカマー生徒の教育もあるという視点から、2010年に学級担任への実態調査を京都市立中学校教員である共著者で行い、その分析をしたのが本論文である。

調査の結果、生徒指導上の関わりや学力の把握については、多くの学級担任が「日本人生徒」同様実践しているが、外国人であるがゆえに必要な「特別な配慮」は未だに不十分なことがわかった。とりわけ、生徒の名前をめぐる問題(通名か本名か)について、ニューカマー生徒の場合にも通名使用者がいるにもかかわらず、等閑にふされておられ、異なる文化、存在を認め尊重していくという「多文化の視点」が弱いことを指摘した。

「多文化の視点」とは、ニューカマー生徒の家庭や保護者の文化的背景をも含めて生徒を理解することであり、生徒の立場から教員自身が持っている「日本的」常識や価値観を問い直すという視点であることを論じた。グローバル化する日本社会のなかで学校も教員も変化が求められているが、その時に大事にすることは子どもの人権保障であることはいままでもない。調査に基づいた実践的な論文なので、京都市現職教員のみならず、教員の卵である京都教育大学の学生諸君にも一読していただければと思う。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要121号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

●開館日程●

休館および時間短縮について

- ※2月25日～26日:大学前期入試
- ※3月7日～27日は工事のため臨時休館
- ※3月12日:後期入試

カレンダーの凡例

日付	9:00~21:00
日付	9:00~17:00
日付	休館日
日付	臨時休館日

平成25年 2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

平成25年 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



京教図書館 News No.149(2013年2月号)

発行日:平成25年2月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp